

2026 年 4 月 15 日

各位

東亜建設工業株式会社

弊社工事現場における事故に関する記者会見のご報告

昨日 4 月 14 日、弊社が施工中の設備解体工事現場（JFE スチール株式会社東日本製鉄所（京浜地区）：神奈川県川崎市）での事故について、弊社は JFE スチール株式会社と共同で事実関係の説明を目的とした記者会見を開催しましたので、お知らせいたします。

本事故により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りし、ご遺族の方々には衷心よりお悔やみ申し上げますとともに、負傷された方々には心よりお見舞い申し上げます。

また、関係機関のご協力を得ながら、行方不明の方の捜索に全力を尽くしてまいります。事故の全容と原因究明につきまして、現在、当局の調査に全面的に協力しております。このような甚大な事故を引き起こし、関係各位に大変なご迷惑とご心配をお掛けしておりますこと、深くお詫び申し上げます。

以上

添付：アンローダークレーン解体工事における崩落・転落事故に関する記者会見資料

本件に関するお問い合わせ先

東亜建設工業株式会社

経営管理本部コーポレートコミュニケーション部

電話：03-6757-3821

**アンローダークレーン解体工事における
崩落・転落事故に関する
記者会見資料**

2026年4月14日

東亜建設工業株式会社
JFEスチール株式会社

- | | | |
|-------------------|---|-----------|
| 1. 受注工事（全体）の概要 | } | (東亜建設工業) |
| 2. 発注の目的 | | (JFEスチール) |
| 3. アンローダークレーン設備概要 | | |
| 4. 全体工事概要 | } | (東亜建設工業) |
| 5. 解体工事概要 | | |
| 6. 安全対策・安全管理 | | |
| 7. 事故発生状況・被災者の状況 | | |

1. 受注工事（全体）の概要

1-1. 受注工事（全体）の概要

- (1) 工事名称 扇島先導エリア原料 A・B バース公共化対応解体工事
- (2) 発注者 JFEスチール株式会社
- (3) 受注者 東亜建設工業株式会社（入札により受注）
- (4) 受注年月 2025年4月 4日
- (5) 契約納期 2027年7月31日
- (6) 工事内容 アンローダークレーン 3基 解体撤去
- (7) 特定元方事業者 東亜建設工業株式会社
 ※特定元方事業者＝安全を含む工事全体の管理を統括する役割を担う

2. 発注の目的

2-1. 土地利用転換に伴う解体工事の実施

JFEスチール(株)では、2023年9月の東日本製鉄所京浜地区の高炉など上工程設備の休止に伴い、廃止した設備の解体工事を総合建設会社に発注して土地利用転換を進めています。



京浜地区上工程 = エリアⅠ

	土地利用検討推進エリア	363ha
	条件付き土地利用検討エリア	43ha
	土地利用検討エリア計	406ha
	京浜地区全体	700ha

2-2. エリア I の解体工事

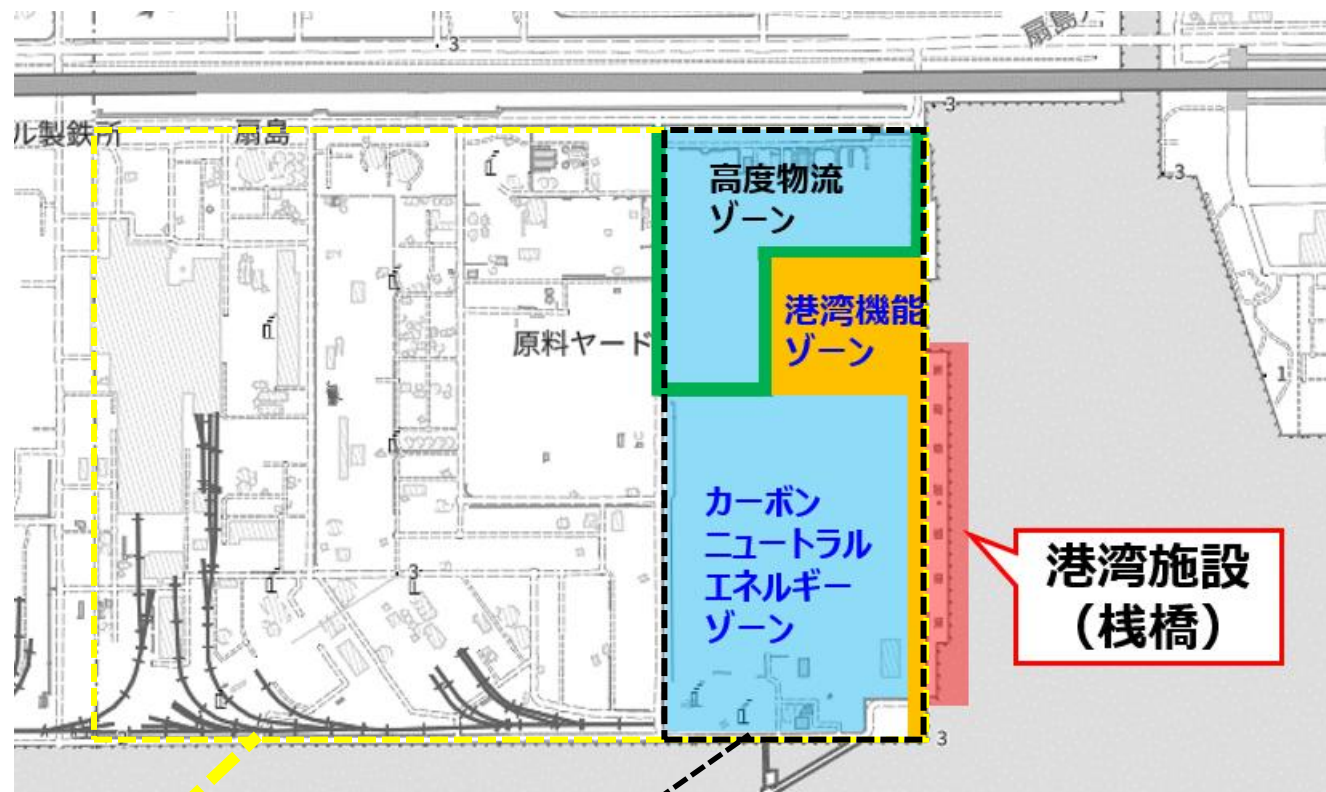
約400haに及ぶ土地利用転換のうち、**扇島地区エリア I の先導エリア**においても2024年11月より解体工事を開始しております。



2-3. 解体工事後の土地利用計画

この**先導エリア**では、2028年から始まる液化水素プロジェクトや港湾機能の公共化をターゲットに、関連する解体工事を進捗させております。

今般、事故が発生したのは、これらのうち港湾施設（栈橋）上の解体撤去工事の現場です。



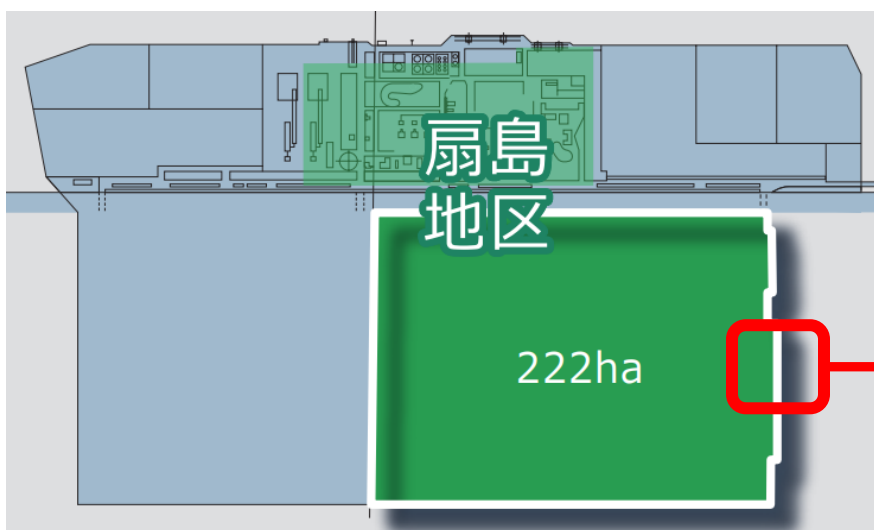
港湾機能ゾーン



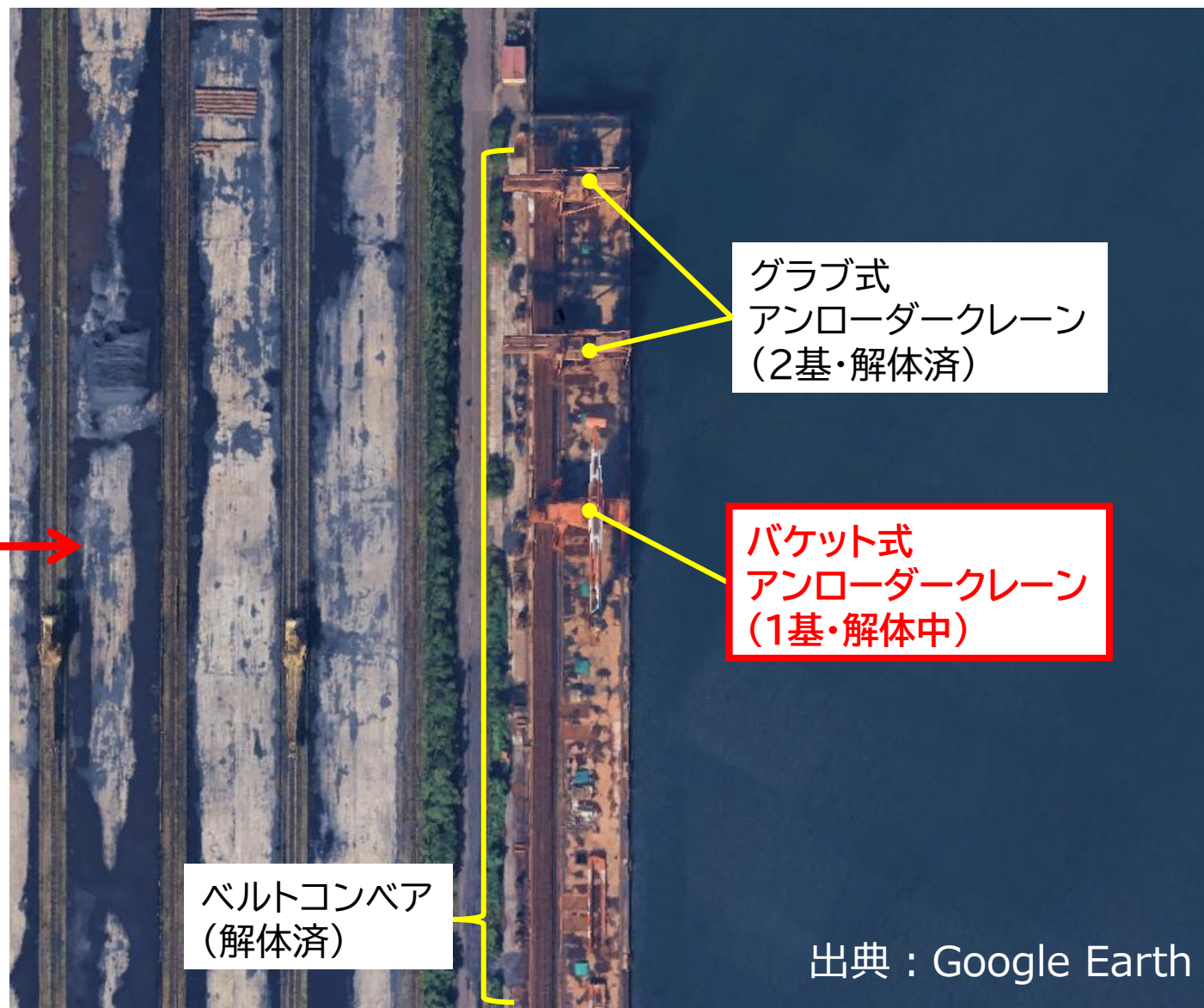
カーボンニュートラルエネルギーゾーン



2-4. 港湾施設（栈橋）上における解体工事



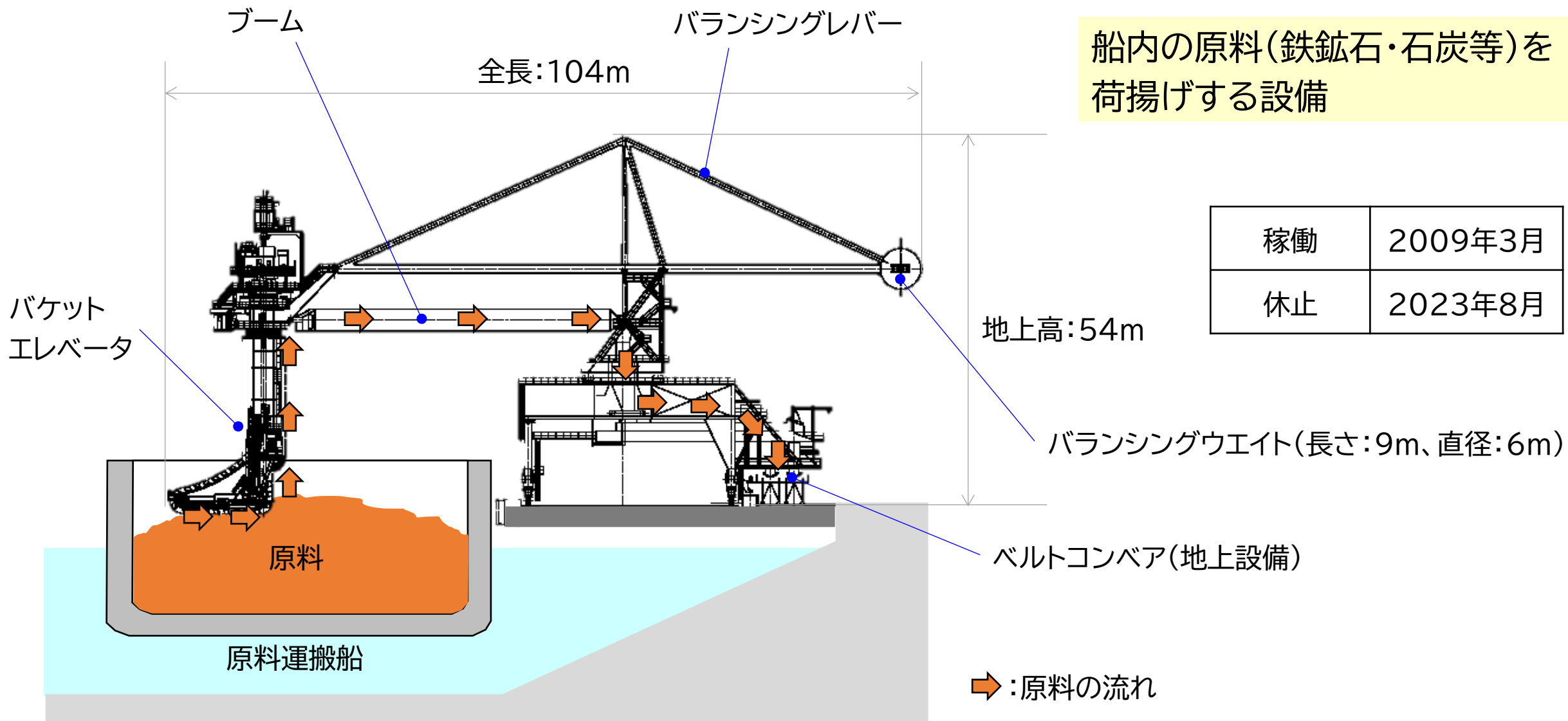
扇島
東岸壁



出典 : Google Earth

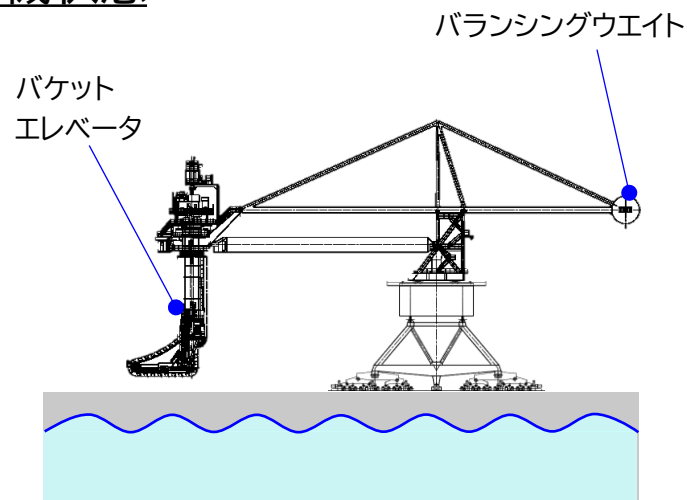
3. アンローダークレーン設備概要

3-1. バケット式アンローダークレーンの設備概要

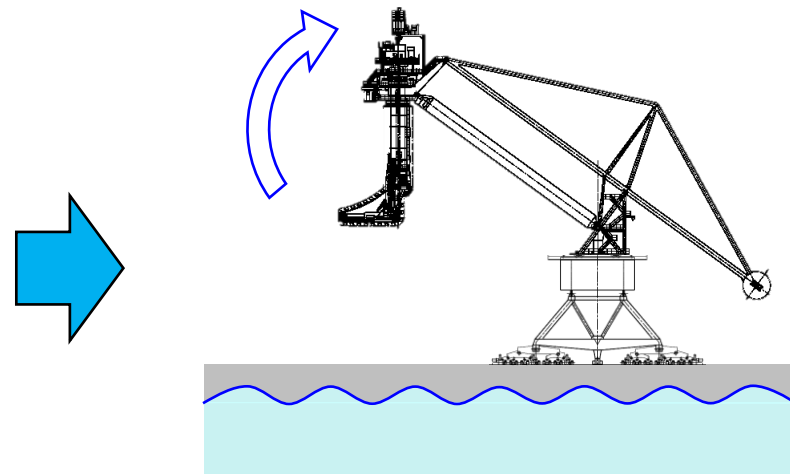


3-2. バケット式アンローダークレーンの動作

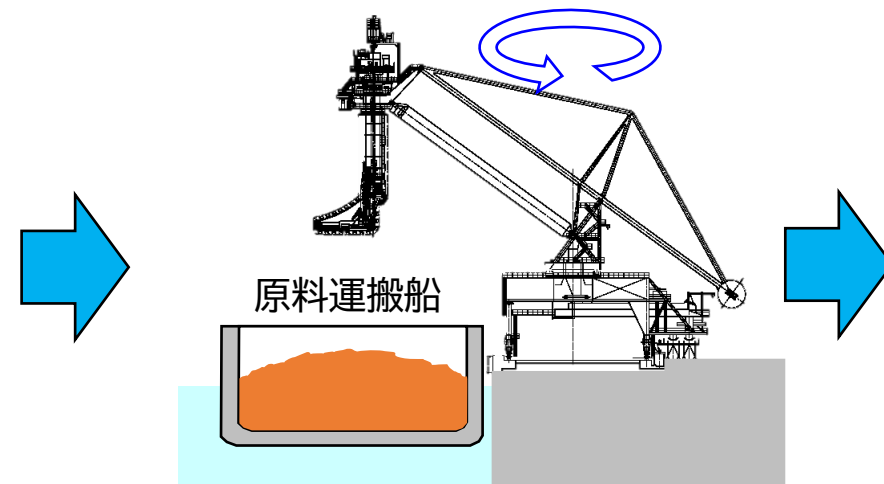
①待機状態



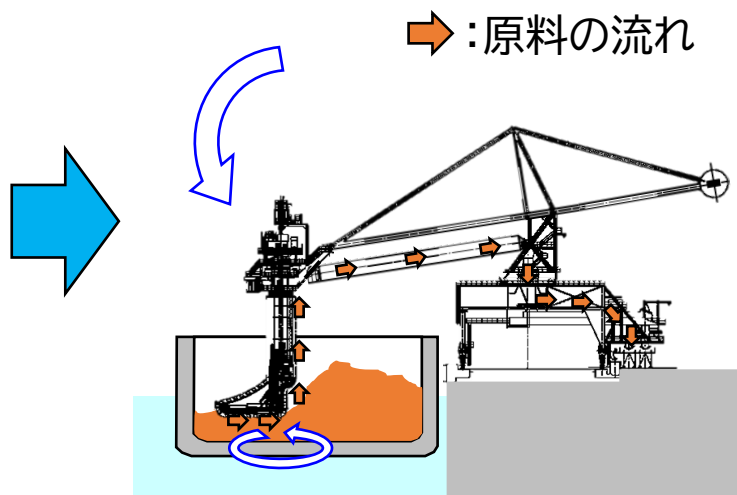
②船へのアプローチ



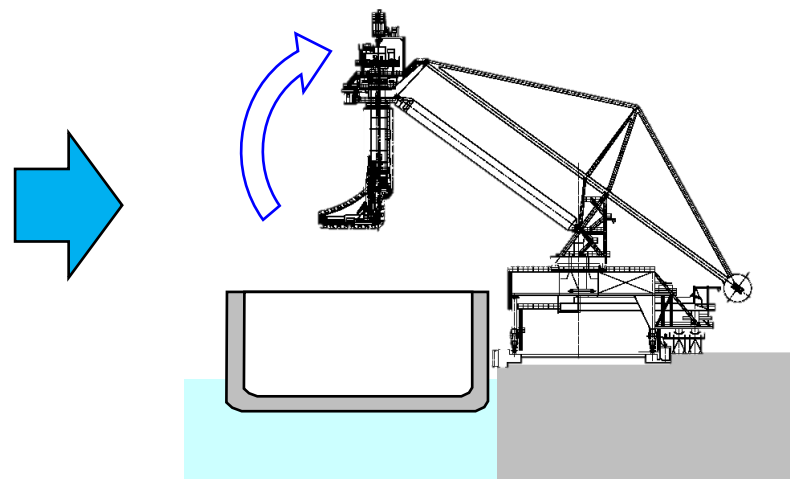
③荷揚げ準備(海側へ90°旋回)



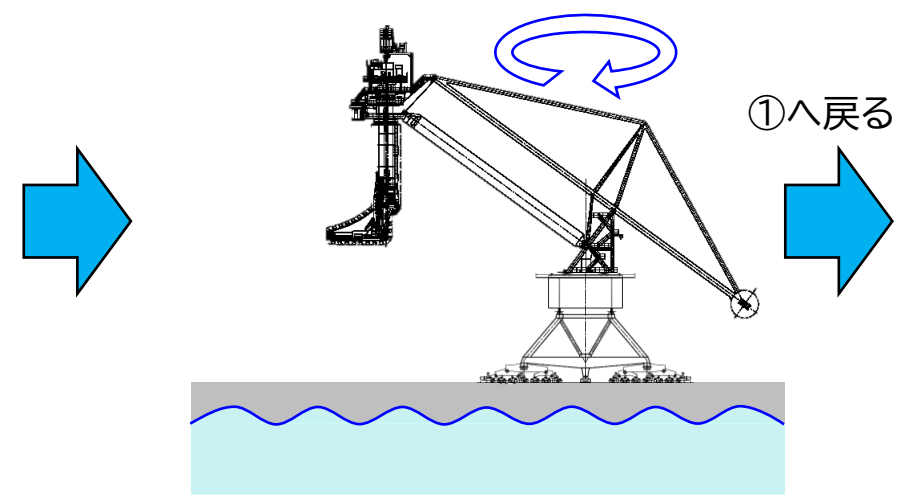
④荷揚げ



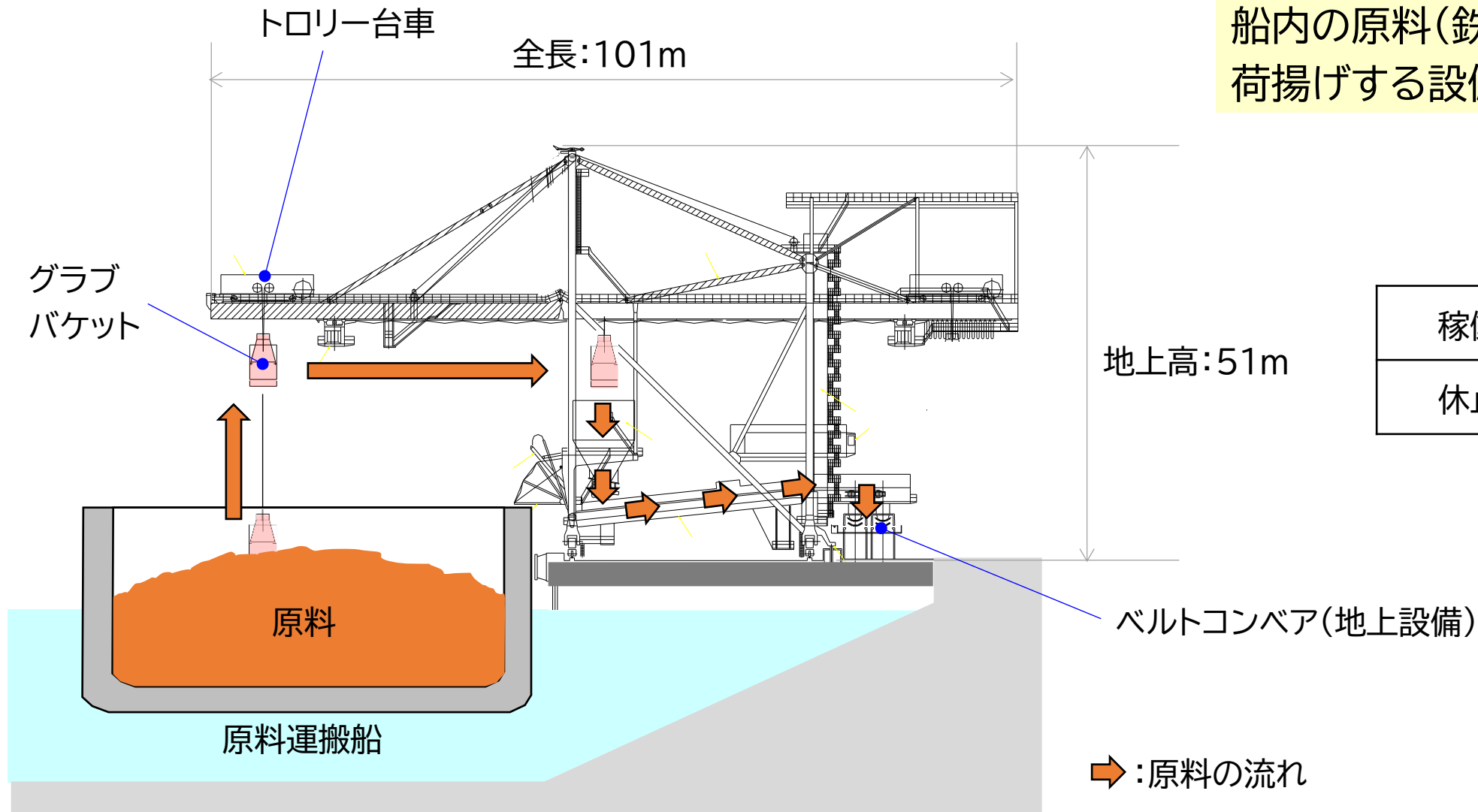
⑤船から離れる



⑥待機位置へ移動(陸側へ90°旋回)



3-3. グラブ式アンローダークレーンの設備概要（2基）



船内の原料(鉄鉱石・石炭等)を荷揚げする設備

稼働	1976年7月
休止	2023年8月

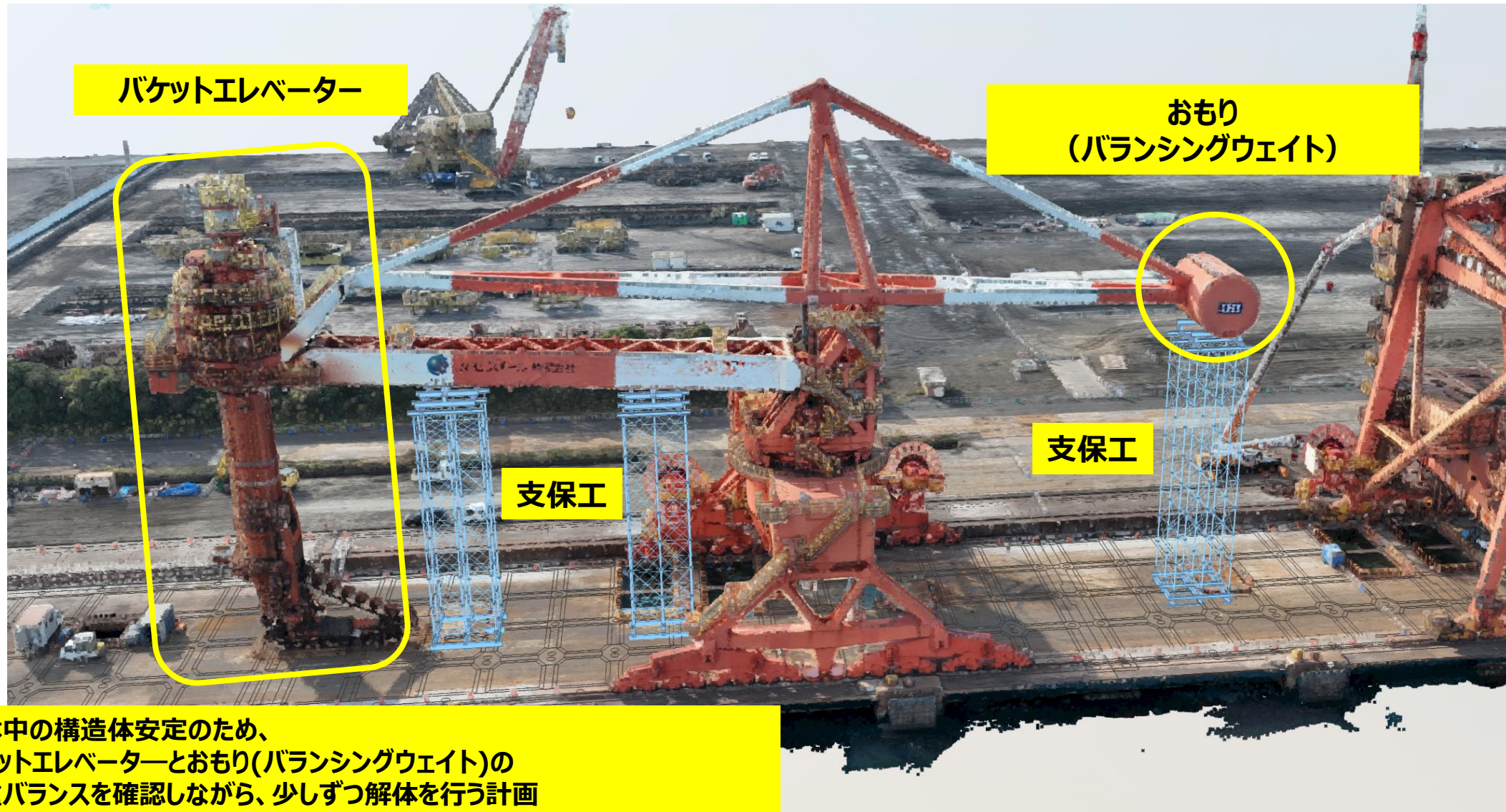
4. 全体工事概要

4-1. 全体工事概要

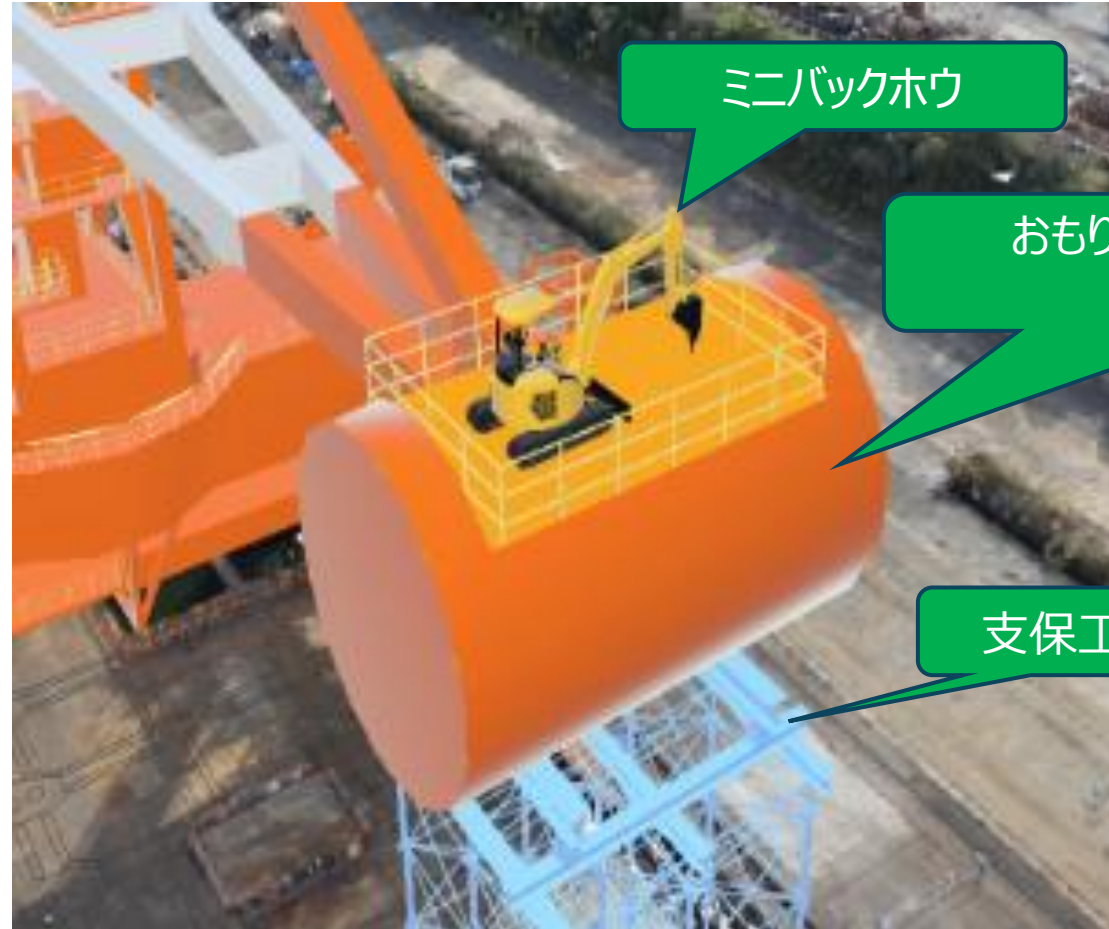


5. 解体工事概要

5-1. 解体工法の概要



(1) おもり撤去方法



ミニバックホウ

おもり（バランシングウェイト）
※コンクリート充填

支保工

6. 安全対策・安全管理

(1) 安全管理体制



6-2. 安全対策・安全管理

(2) 高所作業への対策

【落下防止対策】

- ・安全保護具：ヘルメット、安全靴、防塵マスク、フルハーネス
- ・安全設備：転落防止柵

【作業中止基準】

項目	作業中止基準	測定方法
風速	作業全般：15m/sec(10分間の平均)以上 クレーン作業：10m/sec(10分間の平均)以上	風速計 風速計
雨量	1時間雨量20mm以上	インターネット
視程	1000m以下	目視
地震	震度階級4以上(中震)	インターネット
その他	津波注意報・警報発令時 統括安全衛生責任者が危険と判断したとき 作業再開の判断は統括安全衛生責任者が行う	インターネット

7. 事故発生状況・被災状況

7-1. 事故発生の状況・被災者の状況

- (1) 発生日時 2026 年 4 月 7 日 (火) 16:17
- (2) 発生場所 JFE スチール株式会社東日本製鉄所 (京浜地区) : 神奈川県川崎市
- (3) 発生状況 アンローダークレーン (高さ 54m) 解体時に、
アンローダークレーンの設備の一部である重さ約 400 t の円柱状のおもりが、おもりの上の破砕用重機とともに 35mほど落下し、おもりの上で作業していた方が被災した。
(後に、落下時の衝撃により、地上で稼働していたクレーンオペレーター 1 名の被災判明 (背中を強打する不慮災害))
- (4) 被災者の状況
 - お亡くなりになられた方 : 3 名
 - 負傷された方 : 2 名 (後に軽症者 1 名が判明)
 - 行方不明の方 : 1 名

以上